

平成 22 年度 基盤的研究、野生生物の生物学的知見研究及び
その他の関連研究課題一覧

(敬称略)

区分 番号	代表研究者	所属	研究課題名
基盤的研究			
基盤 1	大迫誠一郎	東京大学	化学物質誘発性のエピジェネティック修飾による DOHaD モデルの検証
基盤 2	安住 薫	北海道大学	海産無脊椎動物ホヤのトキシコジェノミクス基盤研究
基盤 3	早川和一	金沢大学	多環芳香族炭化水素類の内分泌かく乱作用の構造活性相関に基づく魚鱗の化学物質スクリーニング法に関する研究
基盤 4	古賀 実	熊本県立大学	無脊椎動物(アミ類)における生殖・発生異常とその発生メカニズム
基盤 5	田中嘉成	国立環境研究所	改良型ミジンコ繁殖毒性試験を用いた新たな数理生態学的解析手法の検討
野生生物の生物学的知見研究			
野生 1	上田哲行	石川県立大学	アカトンボ減少傾向の把握とその原因究明
野生 2	白岩善博	筑波大学	シャジクモ類の衰退要因解明に向けた環境負荷化学物質の影響に関する生理・生態学的研究
野生 3	三枝誠行	岡山大学	底生甲殻類の成長や成熟に見られる異常のスクリーニングと環境の影響評価に関する研究
その他の関連研究			
その他 1	田辺信介	愛媛大学	生物蓄積性内分泌かく乱候補物質によるわが国の野生生物汚染の実態解明
その他 2	井口泰泉	自然科学研究機構 岡崎統合バイオサイエンスセンター	ミジンコにおける内分泌かく乱作用メカニズムの解明
その他 3	井口泰泉	自然科学研究機構 岡崎統合バイオサイエンスセンター	トキシコジェノミクスを応用した化学物質の内分泌かく乱作用スクリーニング手法の開発